

正誤表

よくわかるマスター
Microsoft® Office Specialist
Microsoft® Excel® 2013 対策テキスト&問題集 <改訂版>

FPT1501

正誤表の見方

ページ数: 修正箇所の発生したページ

誤: 誤った表記

正: 修正後、または今後修正する予定の正しい表記

修正版数: 正しい表記に修正した版数

修正版数が「第0版」となっている場合は、未修正の内容です。
(修正時期については未定です。)

修正版数の「第1版」は、奥付の「初版」を意味しています。

【改版時期】

奥付日付	版数
2015年06月21日	第1版
2016年05月15日	第2版

【修正箇所】

ページ数	誤	正	修正版数
		以下のページにつきましては、修正後の紙面イメージをPDFファイルでご用意しております。合わせてご確認ください。 P1～5 P137～139 P212～213	第2版
P 1～5	本書をご利用いただく前に	※PDFファイル参照	第2版
		練習問題のダウンロード提供開始に伴い、ダウンロード方法などの説明を追加しました。 それに伴い、「本書をご利用いただく前に」内で、項番を変更したり、内容を一部削除したりしています。	
	1 本書の対象者レベルについて 2 本書の構成について 3 本書の記述について 4 製品名の記載について 5 効果的な学習方法について 6 添付CD-ROMについて 7 模擬試験プログラムの動作保証環境について 8 本書の学習環境について	1 本書の対象者レベルについて 2 本書の構成について 3 本書の記述について 4 製品名の記載について 5 本書の学習環境について 6 効果的な学習方法について 7 添付CD-ROMについて 8 模擬試験プログラムの動作保証環境について 9 練習問題のダウンロードについて	

【修正箇所】

ページ数	誤	正	修正版数
P137	Lesson64 問題文 (1)・・・ 種類：オレンジ(グラデーション)	書式スタイル：オレンジ(グラデーション)	※PDFファイル参照 第2版
	(2)・・・ 種類：緑、白、赤のカラースケール 中間値：種類「パーセント」、値「30」	書式スタイル：赤、黄、緑のカラースケール 最小値の種類：数値で40000 中間値の種類：百分位で80パーセンタイル 最大値の種類：数値で70000	
	(3)・・・ 種類：3つの信号(枠なし) 条件：・・・	書式スタイル：3つの信号(枠なし) 条件：・・・	
P137..	(2) ②・・・→《緑、白、赤のカラースケール》をクリックします。	②・・・→《赤、黄、緑のカラースケール》をクリックします。	※PDFファイル参照 第2版
P138	⑧《中間値》の《種類》の▼をクリックし、一覧から《パーセント》を選択します。 ⑨《中間値》の《値》に「30」と入力します。 ⑩《OK》をクリックします。	⑧《最小値》の《種類》の▼をクリックし、一覧から《数値》を選択します。 ⑨《最小値》の《値》に「40000」と入力します。 ⑩《中間値》の《種類》が《百分位》になっていることを確認します。 ⑪《中間値》の《値》に「80」と入力します。 ⑫《最大値》の《種類》の▼をクリックし、一覧から《数値》を選択します。 ⑬《最大値》の《値》に「70000」と入力します。 ⑭《OK》をクリックします。	※PDFファイル参照 第2版
P138.	2つ目の画面	問題修正後の内容にした画面と引き出し線に差し替え	※PDFファイル参照 第2版

【修正箇所】

ページ数	誤	正	修正版数
P138..	Point 《書式ルール of 編集》ダイアログボックス(カラースケール) ①書式スタイル 2色のグラデーションの場合は「2色スケール」、3色のグラデーションの場合は「3色スケール」を指定します。 ②最小値 カラースケールの数値幅の最小値を指定します。 ③中間値 カラースケールの数値幅の中間値を指定します。3色スケールの場合のみ指定できます。 ④最大値 カラースケールの数値幅の最大値を指定します。 ⑤種類 カラースケールの数値幅の最小値、中間値、最大値の単位を指定します。 ⑥値 カラースケールの数値幅の最小値、中間値、最大値の値を指定します。 ⑦色 カラースケールの数値幅の最小値、中間値、最大値の色を指定します。	※PDFファイル参照 ①書式スタイル 2色の濃淡で色分けするときは「2色スケール」、3色の濃淡で色分けするときは「3色スケール」を選択します。 ②最小値の色 最小値のセルに付ける色を設定します。 ③中間値の色 3色スケールを選択した場合に、中間値のセルに付ける色を設定します。 ④最大値の色 最大値のセルに付ける色を設定します。 ⑤種類／値 種類には、「数値」「百分位」「パーセント」などが用意されています。 「数値」は具体的な値を基準に色分けするときに選択します。 「百分位」は、範囲内に順位を付けて色分けするときに選択します。小さい順に並べて100分の何番目の順位に相当するかを設定します。 (⑥と⑦は削除)	第2版
P138...	3つ目の画面	※PDFファイル参照 問題修正後の正しい結果の画面に差し替え	第2版
P139	2つ目の画面	※PDFファイル参照 問題修正後の正しい結果の画面に差し替え	第2版
P212	5-1-4 データ範囲を変更する 解説 3行目 グラフを作成したあとに、データ範囲を変更できます。	※PDFファイル参照 グラフを作成したあとに、データ範囲は変更できます。表に追加したデータをグラフにも追加したい場合や、項目名が正しく認識されず意図したグラフができなかった場合などに、ユーザーがデータ範囲の詳細を設定できます。	第2版
P213	Point 色枠の利用	※PDFファイル参照 (P213→P212にタイトルを変更して移動) Point 色枠を利用したデータ範囲の変更(説明は変更ありません。)	第2版

【修正箇所】

ページ数	誤	正	修正版数
P213.		※PDFファイル参照	第2版
		(以下のPointを追加) Point 項目名が正しく認識されない場合 項目名が数値の場合、軸ラベルとして認識されず、データ系列として認識されてしまうことがあります。軸ラベルとして認識させるには、「データソースの選択」ダイアログボックスで「凡例項目(系列)」から項目名を選択し「削除」をクリックします。次に「横(項目)軸ラベル」の「編集」で項目名のセル範囲を選択します。 (画面図も追加しています。)	
P287	(1) ②《データ》タブ→《外部データの取り組み》グループ...	②《データ》タブ→《外部データの取り込み》グループ...	第2版
P298	(1) ②《データ》タブ→《外部データの取り組み》グループ...	②《データ》タブ→《外部データの取り込み》グループ...	第2版
P321	(1) ②《データ》タブ→《外部データの取り組み》グループ...	②《データ》タブ→《外部データの取り込み》グループ...	第2版
P334	(1) ②《データ》タブ→《外部データの取り組み》グループ...	②《データ》タブ→《外部データの取り込み》グループ...	第2版